

株式会社農夢

※2018年3月現在

代表者名	四方 勝一	資本金	71 百万円
設立年	2007 年 10 月 25 日	売上高	103 百万円 (2017 年 3 月期)
事業内容	生産 (水菜、壬生菜、ホウレンソウ)、消費者等に直売	経営規模	田 5.56ha
従事者数	51 人 (うち女性 36 人。女性内訳：管理職 1 人、一般職 2 人、常勤パート 33 人)		
女性活躍支援	[女性に配慮して取組んだ環境整備] 施設設備関係 (トイレの水洗化)、重労働等の業務改善		



経営概況

株式会社農夢は、京都府綾部市にある農業法人である。京野菜のひとつである「京みず菜」の栽培が中心で、売上の96%を占める。現在、4つの圃場と89棟の栽培ハウスを擁し、その生産量は年間145tにのぼる。

品質には「一番になるんや」との意思で、徹底的にこだわっている。ハウス栽培は「土づくりから」と、自家製完熟堆肥を毎作ごとに投入。ハウス入り口などに防虫ネットを設置して害虫の侵入を防ぐなどし、農薬の使用も極力抑制している。収穫された水菜は、甘くて苦味が少ないことから、最高級品として高値取引されている。

法人設立は2007年10月。第三セクター方式で、設立時の資本金は京都府や綾部市からの出資を受けている。

人員構成は、代表取締役の四方勝一氏をはじめ

役員が3名 (男性のみ)。正社員は9名 (女性3名)。常勤パートは38名で、うち33名が女性となっている。

1. 経営者の理念・意識改革

同社は、過疎化が懸念される同地域において、高齢者を活用した地域活性化と、農業大学校との連携を含めた次世代の農業従事者を育成するなどの目的で設立された。

もともと農村地帯であり、農業に従事する女性が多かった。その経験を活かせることから、生産部門のパートは創業時から女性がほとんどを占めている。

ナイフを使った収穫や袋詰め、出荷作業は、繊細で丁寧な作業が必要であり、機械化が困難である。また、細やかな出荷調整も農業のスキルが求められる。そこで活躍しているのが、女性の常勤パートである。長年の農業経験が、品質保持に大きく貢献。2013年と2014年には、京都府特産物育成協議会京野菜品評会「みず菜の部」で優秀賞を受賞した。

また、店頭で野菜を購入するのは主に女性であるため、袋詰め的美しさ等には、女性スタッフの意見を反映。量も当初は1袋200gだったが、「多くて使いきれない」との声から、現在は150g



としている。

こうした一連の取り組みから、2017年、創業10年にして初めて売上1億円を突破した。

2. 女性が働きやすい環境の整備

労働力の大多数を占めるのが女性の常勤パートである。水菜のハウス栽培は他の農作物に比べて、重労働が少なく、高齢の女性でも無理なく作業ができる環境である。それに加え、作業台の高さ調整や機械設備の整備などで、労働環境の改善に適宜取り組んでいる。

また、衛生面や働きやすさ対策として、ハウスに隣接して清潔な水洗トイレを完備したことが、好評を得ている。

器具用具の工夫も積極的である。一輪車やベスト等に改良を加えるなど利便性向上の取り組みもなされている。これらの「便利機能商品」は、業者の協力のもと、将来的には商品化も視野に入れている。

今後は、機械化できる部分は機械化を推進し、省力化でさらに女性に働きやすい職場づくりを目指している。

また業務には直接関係がないが、常勤パートは高齢者が多いことから、休憩時や昼食時は、会話を楽しめるコミュニケーションの場ともなっている。同様の理由で親睦会等を開催し、組織の活性化を図っている。

3. 女性のスキルアップ

キャリア形成の取り組みとして、本人のやる気があれば未経験者でも積極的に登用するなど、昇進・昇格や、パートからの雇入れも行っている。たとえば現在、パートを束ねているのは入社10年目の女性社員で、2年前に係長に昇進した。

作業については、全体を4班に分けてそれぞれにリーダーを定め、リーダー中心に作業を進めている。個人の能力に応じた作業内容を割り振りし、チーム内で互いが切磋琢磨することにより、

スキルアップに貢献している。

パートリーダーは、実際に商品が並ぶ市場や、納入先の一流ホテル等を視察することで、労働意識を高めている。定期的開催している作業講習会では、生産性向上を目指した取り組みを実施。勉強会では、雇用や商品開発、女性の農業参画等についてのディスカッションを行うなど、意識向上に努めている。

これらの取り組みにより、出荷量は前年比5%増加した。

4. 従業員に関わる制度

パート従業員の雇用については、毎年4月1日付で年間雇用契約を締結。午前のみのお出勤など、家庭の都合に合わせた柔軟な出勤形態や、休日の届け出制等を導入することで、安心して長期間勤務できる労働環境を実現している。

休日と日曜は割増賃金とし、年末の繁忙時には一時金も支給している。

また現在、2名在籍するフルタイムパートは、社員と同様に社会保険や厚生年金に加入し、健康診断も受けている。

柔軟な労働環境が功を奏し、高齢者のみならず、子育て世代まで幅広い層の雇用を確保。2017年は前年比で5名増員となった。

審査委員の声

高齢者の生きがい就農が人生100年時代には求められる。農夢で働く女性たちが自分のみず菜が使われる京都の一流ホテルへ視察に行ったり、食卓での使用分量から袋詰め量を提案をするなど、社会とのつながりを実感し自信を得ていくプロセスは一つのモデルとなる。どのような農作業や「便利機能商品」が開発されていくかも楽しみである。夫の扶養家族からはずれて子育て世代が働き始める新しい展開に期待したい。